

[第6回気象サイエンスカフェin名古屋]

日時：2014年2月1日(土) 17:00~19:00 (受付開始：16:30から)

場所： ナディアパーク 7階
「7th cafe (セブンスカフェ)」

主催：(公社)日本気象学会中部支部
(一社)日本気象予報士会東海支部



テーマ：「雪崩から身を守るために」

スピーカー：西村浩一さん

所属：名古屋大学大学院環境学研究科

参加者：どなたでも可

参加費：600円(ドリンクとケーキの代金)

定員：40名程度(先着順)

申し込み期限：2014年1月31日(金)

※ただしそれ以前に定員に達した場合には申込受付を締め切らせていただきます。

お問い合わせ/お申し込みは、メールにてお願いします。

midori-i@zk9.so-net.ne.jp 担当幹事 岩田

件名は「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名、電話番号(会社、携帯等)、所属(気象予報士会会員、気象学会会員、大学生、自治体等)を記入。
複数名の場合は、参加人数と代表者で可。

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です。「気象サイエンスカフェin名古屋」は昨年8月に開催後今回が6回目となります。

今回、スピーカーに迎える名古屋大学・西村先生には、「雪崩から身を守るために」と題してご自身の研究成果などに基づき、雪崩の発生の原因・特徴・予測、今冬も雪崩の事故が発生していますが雪崩から身の守り方などについて分かり易く説明していただきます。

西村先生のご紹介

① 主な研究

- ・雪崩の内部構造と流動機構の解明 I - 雪崩観測 -
- ・雪崩の内部構造と流動機構の解明 II - スキージャンプ台を利用した雪崩実験 -
- ・雪崩の運動モデルの開発、雪崩発生予測手法の開発
- ・ブータン・ヒマラヤにおける氷河湖決壊洪水に関する研究

② 【著書、総説、解説等】主なもの

- ・雪崩と風、*風の事典*、(丸善出版株式会社)、2011.
- ・雪崩発生予測とダイナミクス、*混相流*、Vol.22, No.4, 348-356, 2008.
- ・積雪面とLES、(共著：根本征樹、*気象研究ノート*(ラージ・エディ・シミュレーションの気象への応用と検証)、第219号、55-66、日本気象学会、2008)
- ・雪氷物理(雪とその特性)、雪による障害発生とその機構、雪崩、*除雪・防雪ハンドブック*(社)雪センター編、森北出版)、2004.
- ・雪崩の運動機構、吹雪の発生機構、*雪と氷の事典*(高橋修平他編、朝倉書店)、2005. など多数。